



みんなの回生

題字揮毫
元県知事・前川忠夫



■ アレルギー性結膜疾患	2
■ 消化器センターより 慢性肝炎について	3
■ 地域連携クリニカルパスについて	4
■ 山の話	5
■ 停電のお知らせ	6
患者のみなさまのご意見とお返事	
■ 回生病院出入口のご案内	7
■ 外来診察予定表	8

● 医事課より患者さまへお知らせ
平成18年3月より、保険証確認は各科外来におきまして、いずれかの科のみでの御提示となりました。毎月初来院日及び保険証が変更されました際には必ず御提示くださいますようお願いいたします。

回生病院理念 皆様に愛され信頼される病院を目指します

回生病院基本方針

- 一、私たちは、質の高い急性期医療を提供します
- 一、私たちは、保健・医療・福祉施設と連携を図ります
- 一、私たちは、思いやりのある医療を実践します

患者さまの権利と責務

- 一、患者さまには、最善で公平な医療を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療内容について十分な説明と情報を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療行為について選択・同意・拒否する権利があります
- 一、患者さまには、個人情報保護される権利があります
- 一、患者さまには、自らの健康に関する情報を提供する責務があります
- 一、患者さまには、病院の規則を守る責務があります

2013年3月
269号



アレルギー性結膜疾患

名誉院長 眼科 塩田 洋

目がかゆい、充血している、めやに（眼脂）や涙が出るというアレルギー性結膜炎の時期がやって来ます。このアレルギー性結膜炎を含め、広い意味でのアレルギー性結膜疾患とは、「I型アレルギーが関与する結膜の炎症性疾患で、何らかの自覚症状を伴うもの」と定義されています。そして次の4病型に分類されています。(1)アレルギー性結膜炎、(2)アトピー性角結膜炎、(3)春季カタル、(4)巨大乳頭結膜炎。



簡単にこれら4病型について説明しましょう。

- (1) アレルギー性結膜炎：結膜に増殖性変化のみられないアレルギー性結膜疾患です。これには症状の発現が季節性のものを季節性アレルギー性結膜炎と呼び、スギやヒノキの花粉によって惹き起こされるものです。これに対しダニ、ハウスダスト、ネコ上皮などによって通年性に発現するものを通年性アレルギー性結膜炎と呼んでいます。
- (2) アトピー性角結膜炎：顔面にアトピー性皮膚炎を伴う患者に起こる慢性のアレルギー性結膜疾患で、増殖性変化を伴わない症例が多いが、巨大乳頭などの増殖性変化を伴うこともあると言われています。
- (3) 春季カタル：結膜に増殖性変化がみられるアレルギー性結膜疾患です。眼瞼結膜に丸く盛り上がった乳頭増殖が認められたり、角膜と結膜の境目、輪部と呼ばれる部が腫れたり盛り上がったたり（Trantas 斑）しています。ひどい場合には角膜上皮欠損や角膜潰瘍を伴っています。
- (4) 巨大乳頭結膜炎：コンタクトレンズや手術用縫合糸などの機械的刺激により、上眼瞼結膜に増殖性変化を伴う結膜炎です。春季カタルと似ていますが、乳頭の形状が異なるのと、角膜病変を伴わないことなどから両者を区別することが出来ます。

上記4病型は、定義にもありますようにI型アレルギーが関与していますので、自覚症状として最も特徴的なものは「かゆみ」です。このかゆみは抗原刺激（例えば花粉が結膜嚢に飛入）により感作された肥満細胞から遊離するヒスタミンなどのケミカルメディエーターによって生じる、と理解されています。「ごろごろする」という異物感や眼脂なども自覚症状としてあります。一方他覚所見としては、**結膜の充血、腫脹、乳頭形成、濾胞形成、浮腫、Trantas 斑や角膜合併症**などがあります。

アレルギー性結膜疾患の診断は、**眼分泌物中に好酸球**を証明したり、涙液中総IgE抗体測定、皮内テストなどにより確定しています。

さて治療薬ですが、沢山の優れた抗アレルギー点眼薬が開発され治療し易くなっています。軽症から中等症の症例には、メディエーター遊離抑制点眼薬或いはヒスタミンH₁受容体拮抗点眼薬を1日4回点眼します。これで改善しない場合或いは重症例には、さらにステロイド点眼薬を併用します。従来春季カタルによる石垣状乳頭形成はどのような治療をしても治す事が出来ませんでした。しかし最近発売された免疫抑制点眼薬（シクロスポリン、タクロリムス）を用いることにより、石垣状乳頭形成も治す事が出来るようになってきました。



アレルギー性結膜疾患は、これを引き起こす抗原がありますので、この抗原に暴露しないようにすることも大切です。例えばスギやヒノキの花粉が飛んでいる場所に行かない。結膜や鼻粘膜を保護するメガネやマスクを使用する。室内のダニやハウスダストを除くため、毎日丁寧にゆっくりと掃除機をかけることも大切なことです。四国では、2月の中旬から5月中旬にかけてスギ花粉が大量に飛散します。かゆみや充血に悩んでいる方、一度当院眼科へ起こし下さい。

消化器センターより **慢性肝炎**について

消化器センター 柴田 幸昌

今回は慢性肝炎についてお話をいたします

慢性肝炎は肝臓の炎症が6ヶ月以上続く病気を言います。多くはウイルスが原因となり、日本ではC型肝炎ウイルスによるものが圧倒的に多くB型がこれに続きます。

C型慢性肝炎では血液感染（輸血や入れ墨など）によりC型肝炎ウイルス（HCV）に感染後に急性肝炎を発症しますが、この段階ではほとんど症状は現れません。しかし、無治療である場合、約7割の方でウイルスが排除されずに持続感染に移行します。放置するとほとんどの場合10-30年かけて肝硬変・肝癌へと進行していきませんが、近年では治療法も進歩しほぼ完全に根治またはコントロール出来るようになっていきます。

B型肝炎ウイルスも同じく血液感染し、以前は母子感染が多かったのですが近年では性感染により拡大する傾向にあり、第2のエイズとも呼ばれています。成人で感染した場合はほとんど場合急性感染で自然治癒しますが、慢性肝炎に移行しやすい欧米型のウイルスが国内でも増加しつつあることが報告されています。B型慢性肝炎でも自覚症状はほとんど見られませんが、肝炎が急激に悪化すると疲れやすくなったり、食欲がなくなったり、尿が黒褐色になることがあります。C型と同様に長期間放置すると肝硬変や肝癌に進行してしまうことがあるため専門医によるフォローアップが必要となります。

その他に慢性肝炎の原因としては、アルコール性や薬剤性や自己免疫性のものがあります。自己免疫性肝炎は男女比が1対7で女性に多く40-50代で発症することが多いです。

また、最近の話題として、NASH（非アルコール性脂肪性肝炎）があります。メタボリックシンドロームが社会問題化しつつある日本の成人男性においては、約3割の方で脂肪肝が指摘される状況となっているため、心あたる方は多いのではないのでしょうか。脂肪肝だけでは大きな問題にはなりません、その約1-2割でNASHを合併していると言われています。NASHの場合はウイルス性肝炎と比較して短期間（10年以内の場合も！）に肝硬変に進行する可能性が指摘されているため、ただの脂肪肝と甘く見ずに早い段階から専門医の受診が望ましいです。



地域連携クリニカルパスについて

リハビリテーション科 大島 靖弘

「地域連携クリニカルパス」というものを聞いたことがあるでしょうか。「クリニカルパス」とは治療計画のことを指し、急性期病院から回復期病院を経て早期に自宅に帰れるよう、連携する医療機関間で共有して用いるものを「地域連携クリニカルパス」といいます。医療機関が変わっても、ひとつの治療計画に沿って治療を行うことにより、スムーズに治療を引き継ぎ、その時期に必要な専門的な治療を受けることができますようになります。

現在、回生病院では脳卒中と大腿骨頸部骨折の患者さんについて、図1のような流れにのっとった地域連携クリニカルパスを運用しています。この二つの地域連携クリニカルパスについて、リハビリの立場からお話しをしたいと思います。

「転院」と聞くと、さまざまなイメージを持たれると思います。自宅からの距離が近くなるというプラスのイメージを持つ方もいれば、環境が変わることに対するマイナスのイメージを持つ方もいるでしょう。突然転院の話聞いて、戸惑われた経験がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

大部分の病院では、病気の経過に応じた専門性を持っています。回生病院は発症後間もない病気やけがに対して手術や救命を行う急性期病院ですが、他にもリハビリを専門とする回復期病院や維持期の病院があります。初めの治療が落ち着いたら、転院して専門的な治療・リハビリを受けることで、より効果的に病気やけがを治すことができますようになります。

ぜひ多くの患者さんに地域連携クリニカルパスの趣旨を理解して頂き、地域全体で切れ目のない円滑な治療を進めていくことができればと思います。

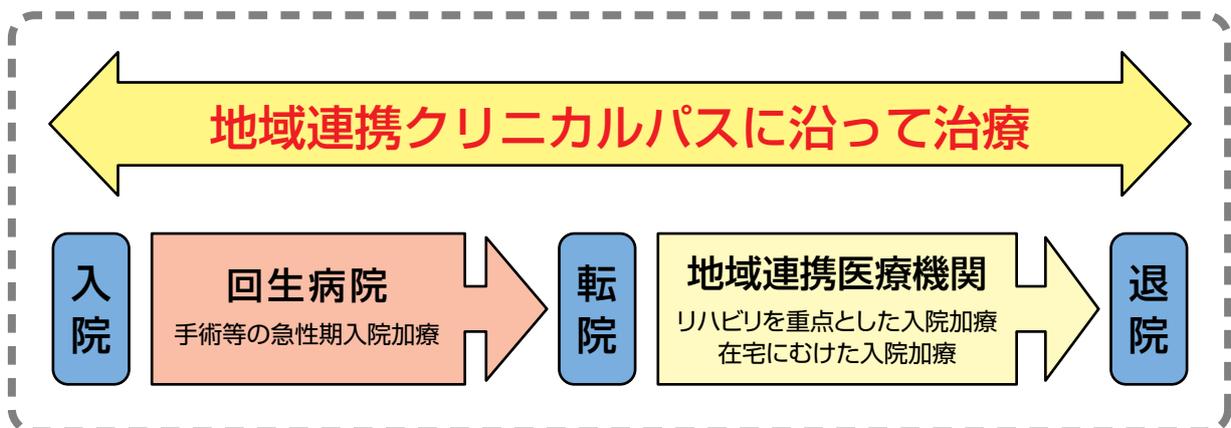


図1. 地域連携クリニカルパスの構図
(脳卒中、大腿骨頸部骨折の場合)

山の話 (38)

病院長 鎌田壽夫

▼ 伊吹山 (二七七m) その四 ▲

今回は伊吹山の南、関ヶ原で行われた関ヶ原の戦いを取り上げます。

関ヶ原というところは、北からは伊吹山地、南からは鈴鹿山地がせまっている小さな盆地です。以前、天王山の稿で書いた山崎に地形が似ています。日本の中央で東西に通じるのはここだけ、という交通の要衝の地ですから、昔から中山道が通り、今では東海道新幹線や名神高速道路が通っています。飛鳥時代には不破の関という関所も設けられたことがあり、関ヶ原という地名は、「古代に関所があった原」ということでつけられました。

一六〇〇年(慶長五年)、この狭いところで、東からきた徳川家康に率いられた軍勢(東軍)と西から来た石田三成率いる軍勢(西軍)、合わせて十五万が集まりました。信長の亡き後で天下をとった豊臣秀吉が亡くなってからわずか二年のことでした。

秀吉は死ぬときに、自分の子の秀頼をあとつぎにするよう遺言していました。ところが家康

だけは、遺言をまもるところか、無視するようなふるまいをするようになったのです。次の天下人は自分であると思っていたからです。家康の実力が怖いものですから、だれもその行動を止めることはできません。そんななかで、正義感の強い三成が家康に挑戦した、というのがこの戦いです。

西軍は地図2のように布陣し、九月十五日の朝から戦いが始まりました。明治になって陸軍大学の兵学教官としてドイツからやってきたメッセル少佐がこの布陣図を見て、「西軍の石田軍が勝つ」と言ったという有名な話があります。そりゃそうでしょう、西軍と東軍の勢力はほぼおなじですが、(■)印の西軍が(凸)印の東軍を取り囲んでいるのですから、西軍は敵を挟み撃ちにして勝つ、ということには私でもわかります。でも実際には、そうはならず、絶対優勢のはずの西軍が敗退したのです。

なぜだったのでしょうか？

じつは、図2の(凸)印の大名たちは、西軍として出陣はしているものの、その日の戦闘の成り行きでどちらに付くか決めようとしていたり、なかにはすでに東軍に

味方すると約束していたものもいたのです。彼らは、戦が始まっても傍観するだけでした。なかには、味方であるはずの西軍を攻撃するものもできました。はっきりいえば西軍を裏切ったのです。西軍が負けてしまったのはこんな事情があったのです。

戦いに破れた三成は戦場を抜け出し、伊吹山の山すそに分け入り、図1の古橋村に潜んでいるところを見つかりとらえられました。じつはある村人がかくまってくれていたのですが、その家の娘婿(この人は養子でした)が密告したのでした。それ以降、湖北地方では、「養子は信用できない」ということで養子をとることを極端にきらう風習がつい最近まで続いていた、ということなのです。



【図1】



【図2】

停電のお知らせ

法定電気設備点検のため下記の日時、全館停電となります。特に午前中には非常用電源のみの稼働となり院内電気設備は最小限の稼働となります。ご迷惑をおかけしますがよろしくお祈いします

日時 / 平成25年3月17日(日) 午前8時～午後5時
外来診療(救急)は午前8時～午後5時の間休診です。

午前中停止となる院内設備は下記のとおりです。

【1・2階外来共用部分】

公衆電話、エスカレーター、自動販売機、エレベーター、トイレ、玄関ドア(手動で操作)

※ただし、エレベーターの乗用、救急、各1台のみ稼働します。トイレは2階検査室横トイレ及び透析室横トイレが使用可能ですがウォシュレットは使用出来ません。

【病棟】

湯沸かし器、ランドリー(洗濯機、乾燥機)、室内テレビ、冷蔵庫、電源コンセント、自動販売機、乗用エレベーター

※ただし、乗用エレベーターは1台のみ稼働します。トイレは使用可能ですがウォシュレットは使用出来ません。
 ※当日のテレビ、冷蔵庫の利用料金は無料とさせていただきます。

ご迷惑をおかけしますがご理解、ご協力をお願いします。

患者のみなさまのご意見とお返事

ご意見 順番待ちの件ですが、1度診察をしてもらってレントゲン等に行ったら、また待ち直しのようになります。帰ってきたら、後から来て待ってる人より、先になるのが普通なのではないでしょうか？

お返事 大変申し訳ありません。診察後レントゲンに行き、次の診察は、レントゲンが終わり次第診察になるのが普通ですが、患者様の状態などにより前後する場合があります。必ず声掛けを行い説明するように指導いたします。(外来課長)

ご意見 朝早く目が覚めて(4:30頃)新聞でも見ようかと思い下へ行っていたが、新聞はきていて見せてくれず時間をもてあまして。 (普段は四国新聞以外は、5:00前にきてるので見せてもらっている) 守衛さんに本日問い合わせるが、5:15にならないと新聞も読ませてもらえないと言われた。いつもなら、5:00前に新聞を読み、5:15頃門をあけてもらい散歩に行くのですが、本人が仮眠していたこともあり起こされて機嫌が悪く対応された。

お返事 玄関の開錠時間と施錠時間について説明させていただきます。
 当院の玄関の開錠時間は、午前6時から午後9時となっております。警備会社には時間の徹底を申し渡しておりましたが、徹底できておりませんでした。今後警備・入院療養環境の保全の為、新聞の閲覧時間は開錠時間に合わせ午前6時から午後9時とさせていただきます。ご協力をお願い致します。(総務課課長)

ご意見 外来、病棟とも身障トイレが不足しています。時間がかかりますので、使用中に「ノック」があると気が焦り落ちついて使用できません。

お返事 身障トイレが少なくご不便をおかけしまして申し訳ございません。トイレの数に関しましては、スペースの関係もあり数が限られております。ご不便の際は、お近くの職員に遠慮なくお声をおかけくださいませ。(総務課課長)

ご意見 予防接種日(小児科の)と風邪を引いた子を、一緒に受診させるのはどうかと思う。病院の管理不十分である。総合病院として不安を感じる。また受付看護師も受付にいるのに対応しない。私の勤める病院であれば即クレームである。

お返事 予防注射の日は、一般の患児の場合、15:00以降の診察としていますが、知らずに来院した方など臨機応変に対応を行っています。(外来課長)

回生病院出入口のご案内

南出入口 利用時間

月・火・水・金……7時～18時
 木・土……………7時～15時
 日・祝祭日の利用は出来ません



増築工事にともない、ご利用の皆様には図に記載しております
 通路をご利用いただきますようお願いいたします。
 長期間にわたりご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお
 願いいたします。
 なお、車寄せご利用の方は南出入口をご利用ください。

外来診察予定表

平成25年3月分

受付時間／午前8時30分～午後13時

※午後の診察開始時間は診療科により異なります。詳細につきましては地域連携係までお問い合わせください。(直通 46-11121)

科目	曜日	月	火	水	木	金	土
総合内科	午前	鎌野	山城	和田	交代制	西川	交代制
	午後 13:30~	柴田	柴田	山城		近藤	
消化器科	午前		正木 <small>肝臓専門(19日)予約制</small>	舟木	鎌野	舟木	正木 <small>(予約制)肝臓専門(1日)</small>
神経内科	午前		野寺(12日)		藤田(14日) 松井(28日)		出口(23・30日) 久米(9・16日) 予約制
呼吸器科	午前	近藤	近藤		近藤		近藤
禁煙外来(予約制)	午後 14:00~16:00		近藤				
血液内科	午前	内田		内田			
糖尿病センター (糖尿病・内分泌)	午前	桑島	桑島	桑島	桑島	和田	桑島(2・23日)
甲状腺外来	午前	桑原(予約制)	桑原	桑原	桑原(予約制)		桑原(予約制)
	午後 14:00~16:00		(検査)	(検査)			
心臓・血管センター	午前 9:00~	小林	梅原	田村	高麗	小村	紹介外来
女性漢方外来 (予約制)	午前 9:00~12:00	野萱	野萱			野萱	野萱
	午後 14:00~16:00	野萱	野萱				
ペインクリニック科 (予約制)	午後					野萱	
外科	午前	近藤	澤田	近藤	澤田	近藤	澤田
	午後 13:30~	澤田 乳腺外来	(手術)	(手術)		ベースメーカー外来 近藤(22日) 予約制	
呼吸器外科	午前	中村			中村		
	午後 13:30~	石川	(手術)	(手術)		(手術)	
整形外科	午前	小川(副理事長)	松浦(理事長)	森田	片山	小川(副理事長)	片山
	午後	小川貴之 (手術)	小川貴之 (手術)	(手術)		森田 (手術)	
関節外科センター	午前	五味	大久保	松浦(理事長)	五味	大久保 (11時まで)	松浦(理事長)
	午後	五味 16時まで(予約制)	(手術)	(手術)		(手術)	
形成外科	午前	辻	野網	辻	野網	辻	野網(9・16日) 辻(2・23・30日)
	午後	(手術)				(手術)	
メンタルヘルス科 <small>初診の受付時間について 午前 8:30~11:00 午後 13:30~15:30</small>	午前	坂東	神前	香川	神前	神前	坂東
	午後 14:00~	香川	香川	坂東	坂東	神前	神前
産婦人科	午前	西田	小倉浩二	小倉浩二	西田	小倉浩二	西田
	午後 14:00~		小倉智子	小倉智子		小倉智子	
眼科	午前	塩田	塩田	近藤	近藤	塩田	川端 藤田
	午後 14:00~	(手術)	(検査)	(検査)		(検査・手術)	徳大医師(8・22日) (2・16・30日) (9・23日)
耳鼻咽喉科	午前	竹田	竹田	竹田	竹田	竹田	竹田 兵頭 山田
	午後 14:00~	竹田	(手術)	(検査・手術)		竹田	
泌尿器科	午前	山本	秋山	松本	秋山	高尾	山本(新患受付 11時まで)
	午後 14:00~	松本	山本	秋山	松本	秋山	松本
脳外科	午前	沖屋	田村	沖屋	沖屋	田村	田村
	午後		高知大	(手術)	高知大	(検査)	清水(2・16日)
小児科	午前	下河	矢野	下河	矢野	下河	下河
	午後	矢野 (予防接種 診察15:00~)	下河 (予防接種 一ヶ月健診 診察15:00~)	矢野 (予防接種 診察15:00~)		矢野 (一ヶ月健診・乳児健診 診察15:00~)	
放射線治療センター	午前	竹川	竹川	生島	竹川	竹川	
	午後	竹川	竹川	生島	竹川	竹川	
救急科		関・乙宗・音成・宮地					

患者相談窓口のご案内

当院では、皆さまからの受診に関する不安・医療費の心配・介護保険や身体障害者手帳等の社会福祉サービスなど医療・福祉に関するご相談に応じています。何か不安な点や気になることがあればお気軽にご相談ください。

- 場所：1階エスカレーター下
- 時間：月・火・水・金 9:00~12:00 / 13:30~17:00
木・土 9:00~13:00

お知らせ

- ※各科とも上記の時間帯で受付、診察を行っております。ただし、耳鼻咽喉科・泌尿器科の午後の診察は14:00から16:00までとなっております。(予約制)
- ※月曜日の午後の乳腺外来・呼吸器科の診察は13:30~15:00までとなっております。
- ※午後の受付は16:30までとさせていただきます。
- ※リハビリテーション科でも外来治療の方に予約制を導入いたしております。
- ※女性漢方外来はみなさんのお話をじっくりうかがうため、完全予約制としております。診察ご希望の方はあらかじめ下記までご連絡ください。
予約受付時間：月・火・金 9:00~16:30 / 土 9:00~12:00
TEL: 0877-46-1011 (代表) 担当者：西頭

小児科より

- 予防接種(予約制) 前日までに予約
- 毎週(月・水) 13:30~15:00
- 毎週(火・金) 14:00~15:00
- 一ヶ月健診・乳児健診(予約制)
当日午前中まで予約
- 一ヶ月健診：毎週(火・金) 13:30~15:00
- 乳児健診：毎週(金) 13:30~15:00
- 午後の一般診察
(月・火・水・金) 15:00から16:30まで受付